

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	西洋建築史						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	選択必修科目(建築工学コース) 選択必修科目(建築コース) 選択必修科目(デザインコース)						
担当者	川上 秀人						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代ギリシアとローマの建築の特徴と社会的背景を知る。(B5)</li> <li>・西洋中世の教会堂建築の歴史を知る。(B5)</li> <li>・建築のもつ空間的特徴を理解する。(B5)</li> </ul>						
日程と内容	9/15 : 導入講義 : 授業の進め方と概要の説明、成績評価法 9/22 : エジプト建築 9/29 : アモン神殿・コンス神殿 10/6 : メソポタミア建築 10/20 : エーゲ文明・ギリシア文明 10/27 : ギリシア神殿のオーダー 11/10 : パルテノン神殿 11/17 : ローマ建築・パンテオン 11/24 : バシリカ 12/1 : 住宅・記念門 12/8 : 初期キリスト教建築 12/15 : ビザンティン建築 12/22 : イスラム建築 12/23 : ロマネスク建築 1/19 : ゴシック建築 1/26 : 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代ギリシアとローマの建築の特徴と社会的背景を知る。(B5): 達成した</li> <li>・西洋中世の教会堂建築の歴史を知る。(B5): 達成した</li> <li>・建築のもつ空間的特徴を理解する。(B5): 達成した</li> </ul>						
反省点	授業の終わりに翌週・翌々週の授業内容を提示して、自己自宅学習の目標とした。予習を兼ねたレポートは3回提出させたが、それは自宅学習と対応している。合格点に達していないレポートは何度も修正提出させたが、試験結果に反映されていないので、自宅学習が不足していることは明らかである。						
来年度の計画	学生の自宅学習とレポートの添削に力を入れたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	静かな授業環境を保持できた点は、多くの受講生から評価されているようである。一部の学生は非常に強い興味をもったようだが、全体的に学生自身の基礎知識(教養)が不足している点はひいていできない。学生自身の自宅学習(予習・復習)もまだまだ不足している。						
履修登録者数	76名	定期試験 受験者数	67名	合格者数	53名	合格率	79%